

No.	問9 個別支援計画作成業務の委託料1件の単価(3,500円という金額)について、どのように感じていますか。 1. 非常に高い金額だと思う 2. やや高い金額だと思う 3. おおむね妥当な金額だと思う 4. やや安い金額だと思う 5. 非常に安い金額だと思う	
		その理由
1	4	計画書を作成したあとも事実上モニタリングに近い確認作業が必要になるが、その手間が反映されていない。→介護保険予防支援に連動した金額
2	3	
3	3	
4	4	予防プランと同様の手間がかかる為
5	3	
6	3	
7	3	
8	3	
9		
10	3	
11	3	認定調査料と近い為
12	4	通常の業務の他にとなるといい
13	3	
14		
15		
16	4	通常業務以外としての労力がかなり必要のため
17	5	時間がかかる
18		
19	4	継続的に変更をしていかなければならないため 4000円
20	3	
21	3	
22	4	5000円
23		
24		
25	5	時間と労力、精神的な負担の割にあわない。まだ、作りやすい人だったと思う
26	4	かかる時間や避難経路の確認が必要なため
27	4	避難経路の確認が必要だから
28	3	
29	4	作成にかかった時間と人件費を考慮すると、やや安いと思う
30		
31	3	
32	3	
33	4	かかる労力に比較したら、安価だと思う
34	5	事前の同意の有無によってかける時間が違う。修正があった際に、委託料が払われないから
35	5	手間と時間がかかる為 5000円
36	1	委託料はあまり必要ないと思う
37		
38	5	ふたんが多すぎる。往復の時間・ガソリン代・夜間の作業時間など
39	5	モニタリング時に合わせて、進めていくのが理想だと思いますが、本当に時間がとれない！
40	3	業務内で行う知名度が低く、金額が高ければより、緊急性が増すと……。
41	3	

No.	問11 個別支援計画を実際に作成した担当者は、その業務を行うことについて、現時点でどのように感じていますか。 1. まったく負担に感じていない 2. それほど負担に感じていない 3. どちらともいえない 4. やや負担と感じている 5. 非常に負担と感じている	
		その理由
1	4	
2	3	締め切り期日がないため時間内に活動しましたので、特に負担には感じられませんでした。
3		
4		
5	2	
6	4	時間を確保する事に負担を感じる。
7	5	通常業務があり場合により、事業所を空けられなかったりするので、時間がない。
8	5	時間のねんしつが難しい
9		
10		
11	4	改めて必要な事項を本人や家族等への
12	4	
13	4	業務の中で作成する時間をとる事
14		
15		
16	5	
17	5	時間がかかる
18		
19	4	業務内で行う時間の確保が大変
20		
21	4	ケアマネの実務が手一杯なため余裕がない
22	4	書類の整理、管理等大変
23		
24		
25	5	作成したからと言って、個人の収入にはならないし、問9に同じ
26	5	利用者の作成側も不慣れなため
27	5	やりかた等、慣れるまでは負担
28	4	業務がふえる
29	4	作成自体に慣れていないため、時間がかかる。対象者との面接や計画作成する時間を新たに確保しないとイケない
30		
31	2	
32	3	
33	4	通常の業務だけでも、時間外になることが多いので、そのうえで、個別支援計画を作成するのは負担が大きい
34	5	対象者の方への説明で理解を頂くことが負担
35	5	
36	4	業務がふえたため
37		
38	5	利用者様の体調悪化する人が今年は多く、死亡する人も出た。時間が足りず、夜間にしか、作成できなかった。
39	5	日常の業務がいっぱい
40	5	通常の件数(障がい)でも、対応が困難なのに、さらに追加は負担。
41	4	

No.	問13 貴事業所では、個別支援計画の作成の業務を次年度以降も受託する意向がありますか。 1. 受託する予定 2. 検討中 3. 受託しない予定	
	その理由	
1	2	個別支援計画作成の意図、事業自体のあり方に疑問を感じるため
2	1	
3	1	
4	1	
5	1	
6	1	
7		
8	2	時間が……。
9	2	業務の負担が大きい為
10	1	
11		
12	2	
13	2	
14		
15		
16	2	計画を作成する時間的余裕がまったくない
17	2	件数を抱えてしまったら、時間がとれない
18		
19	1	利用者の危機管理意識を持ってもらうため
20	3	依頼があれば
21	1	
22	1	
23	1	
24	1	
25		かなり厳しい
26	1	
27	1	
28	1	
29	1	
30	1	
31	1	
32	2	
33	1	
34	2	今年度の課題について、古河市と話しをしていき検討する
35	1	
36	1	
37		
38	2	ケアマネが作成することは妥当なことと思うが、あまりにも負担が大きい、利用者にも何もない、負担は少ないが、入院者多数となると作成が困難と感じる。
39	2	業務が追いつかない
40	1	
41	1	

No.	問14	貴事業所では、ケアマネジャーや相談支援専門員が、サービスを提供している対象者(高齢者や障がい者又はその家族等)に対して、災害・防災に関する情報を提供することについて、どのように感じていますか。 1. 非常に大切なことであると思う 2. まあまあ大切なことであると思う 3. どちらともいえない 4. あまり大切なことであるとは思わない 5. まったく大切なことであるとは思わない
		その理由
1	2	
2	1	テレビなどのニュースで聞き、いつ災害があるかわからない。自分自身で家族間で、話し合う時間も大切ではないかと思います。災害は、常にいつ発生するか分からないため、個々に自覚することも良いと思いました。
3	1	
4	1	
5	1	
6	2	
7		
8	1	いざと言う時、慌てない為には必要かもしれない。
9	1	自立で避難することが難しい方にとって事前に防災について考え、準備しておく事は重要だと感じます。
10	1	身体状況に合わせて避難場所が異なるので、適切な情報提供は必要と考える。
11	1	各地で災害が発生しているので、心配である
12	1	大切なことだとは思うがいい
13	1	
14		
15		
16	1	命を守るための情報は、いろいろな所から入った方が良い
17	1	普段意識していない事を、再確認できる為
18		
19	1	災害がいつ起こるかわからない為
20	1	意識づけとしても大切
21	1	近年に異常気象を見て必要
22	1	
23	2	
24	1	
25	1	普段からの準備や心構えが必要だと思うから
26	1	高齢世帯、独居の方が多いため
27	1	高齢世帯が多いため
28	1	
29	1	日頃から防災の意識を持ってもらうのは、重要だと思う。改めて災害時のことを考えてもらう機会にもなるので、必要な取り組みだと思う
30	1	情報を提供する事によって、少しでも意識を高めてもらえるのではないと思う
31	1	
32	2	
33	1	災害弱者である高齢者に情報を提供することは大切だと思う
34	1	
35	2	
36	1	避難するおりの必要性
37		
38	1	1枚の紙に、利用者の大切な情報が入っており、また、災害にあった時のことを家族と共に真剣に話し合うことができた。
39	1	危機感を持つ
40	1	当人や家族があれば安心と思っている。
41	1	

No.	問15 貴事業所では、ケアマネジャーや相談支援専門員が、サービスを提供している対象者(高齢者や障がい者又はその家族等)のために個別支援計画の作成を行うことについて、どのように感じていますか。 1. 非常に意義があると思う 2. 多少意義があると思う 3. どちらともいえない 4. 多少疑問に思う 5. 非常に疑問に思う
	その理由
1	5 ケアマネは何でも屋ではない。インフォーマルと称して、何でもケアマネに任せる事で、各分野の専門性がそなわれ、人材も育たない。災害は特殊分野であり、だからこそ、介護保険とは切り離して独立して対応できるしくみが必要と感じる。
2	1 高齢者等、特に独居生活されている方は、常に心配されている声が聞かれるため。
3	1
4	2
5	2
6	1
7	
8	4 行政で行うのがいいのでは??
9	1 個々の事情をある程度把握しており、信頼関係がある。
10	1 災害弱者となるので、計画を立てることで必要なサービスが利用できる。
11	1 独居等の方は必要だと思う
12	2
13	
14	
15	
16	2
17	4 民生委員他、色々な人がいる、ケアマネとすると、負担が多い
18	
19	3 利用者とかケアマネと一緒に災害について相談できたため
20	3
21	1 身体状況、認知面などを把握しているため
22	1
23	2 災害時担当の人が、仮にいたとしたら、ケアマネ1人が携わるというよりも2人で個人に携わることになり、その方が有意義なものになる
24	2
25	2 計画通りにいかないことの方が多いから
26	2 避難など災害に対して意識がけには、意義はある
27	2 利用者・家族に意識してもらうにはいいが、本当に役に立つかは、少し疑問
28	2
29	1 実際に対象者とその家族と考えながら作成していくので、具体的なイメージも持ちやすいと思う。イメージを持つことで防災意識も高まるのではないかと 思う
30	1 計画は作成していませんが、訪問時に話をしています。避難はどうしたら、良いか、わからないの答えがほとんどです
31	1
32	4 避難場所があいまい、自己判断にまかせすぎ、ケアマネも説明責任があいまい
33	4 ケアマネジャー相談支援専門員が対象者のために個別支援計画を作成するのは、理にかなっているが、負担が大きいのも事実
34	1
35	1
36	1
37	
38	1 対象者全体を把握できた。
39	1 サービス利用計画の中にも、取り入れるべきと考えるから
40	1 命に関わり、その方の全てを知っているから。
41	2

No.	問17 ② 貴事業所では、名簿未登録者(対象者一覧の同意欄に○印の無い人)に対して、今後(も)個別支援計画の作成を行う予定がありますか。 1. 作成する予定 2. 検討中 3. 作成する予定はない	
	②	その理由
1	3	
2	3	訪問時説明はする予定、特に家族が否定された場合は強制はできないため。
3	1	
4	1	
5	1	
6	1	
7	1	
8	1	
9	2	業務の負担が大きい
10	1	
11	2	通常業務が忙しい為
12	1	
13		
14		
15		
16	3	
17	2	
18		
19	1	必要だと思うから
20		
21	2	対象者の意向による
22	1	
23		
24		
25	3	同意されてる方もまだのため
26	1	
27	1	
28	1	
29	2	
30	1	
31	1	
32	1	
33	1	
34	3	未登録者への説明するのは負担である
35	2	
36		
37		
38	2	
39	1	
40	1	
41	1	

No.	
	①対象者(本人又はその家族等、以下同じ)宅へ訪問した際の対象者の反応について
1	
2	軽いMCIの方への説明には家族へ連絡後、家族が了解後、作成業務しますが、2～3日後訪問で忘れてしまい再度一から説明 数回の訪問が必要でした。家族の協力も必要と思います。
3	一緒に考えるようにしている。
4	
5	不安
6	
7	深刻に考えて、一緒にどうするか考えてくれている方もいれば、どうにもならないと、なげやりになりどうでもいいと発言する方もいました。考え方については、まだ何件も回っていない為、把握できていません。
8	
9	個別支援計画作成の依頼をしたとの認識がない方がいた。
10	
11	
12	説明しても、なかなか理解してもらうまでに時間がかかる。助けてもらえるものだと思ってしまう
13	説明すると日常、必要性を感じているが、実際どのような事をしたら良いか、具体的な方法がわからなく不安に感じていた
14	高齢者世帯や独居の方の親族にこの取り組みをしていると話す、遠方で来られない方は、特に安心されて様子でした
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	移住地において避難に至るまでの災害ではなかったため、今後も大丈夫だろうとのこと
22	同意したことを忘れていたが多かったが、説明すると大切なこと、助かるとの声が聞かれた
23	
24	
25	私はいいわよと言いつつも説明(最近の災害を振り返って)とすると耳を傾けてくれた
26	実際、避難の時はなにもしてくれないの?となる
27	支援体制って計画作成だけなの?という感じになる
28	
29	
30	
31	毎月の通常訪問時に個別支援計画の聞き取りも合わせて行ったので、特に問題はなかったように思う
32	助けてくれないのか?自分だけではどうにもならないし、どうなっても良い等から、始まることが多かった
33	同意欄の○がついていても、そこを覚えてない人が多いと思う。何かのアナウンスをしないと作成する側がやりにくい
34	対象者がこの避難行動要支援者の件について、忘れてしまっている。「なんでしたっけ?」との話しより、もう一度制度の説明をしなくてはならない状況
35	
36	
37	
38	1人または、2人暮らしの人は、真剣に考えてくれた。
39	まだ、行っていません。
40	計画作成はお願いしたいが、電話や会ったりして確認するのは、面倒そうでした。
41	

No.	
	<b>②対象者の個別支援計画の作成の趣旨又は重要事項説明書の理解度について</b>
1	
2	家族、本人より個人情報がかかる事を嫌がり、詐欺等の心配の声もあり、個人情報には心配はありませんと口頭で説明、何か市役所でのチラシなど、配布なども良いのではと思います。H30年度用はありますが、R1に訂正配布しました。
3	
4	
5	ある
6	
7	ある程度理解はされていると思います。
8	
9	個別支援計画の作成については、一定の理解を得られてました。
10	
11	
12	
13	理解はしたが、実際、その場になったら、計画通り避難できるかとの意見があった
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	重要事項は分かりづらい。きちんと理解していただくのは難しい
23	
24	
25	理解されている
26	理解はしてくれるが、実際何もしてくれないの？となる
27	理解はしてくれるが、何かしっくりきてない様子になる
28	
29	
30	
31	大事な所と強調して伝えたので、特に問題なかったように思う
32	対象者自身は、理解が難しい人もいる。内容は、ケアマネ(福祉職がつたえる)スキルの差や相手の受け答えに合わせがちになってしまうことがあった
33	独居の高齢者に対して、作成の趣旨や重要事項説明の内容を理解されることは、難しいと思う
34	理解しているか分からないが、説明に対する回答はある。質問も特にない。今までの関わりから、スムーズに対象者も受け入れていただけただけなのではないかと考える
35	
36	
37	
38	少し分かった。
39	まだ、行っていないので、わかりません
40	説明しても依頼すれば大丈夫だと思っている方がいた。(支援者のなりてが見つからない方が多い)
41	



No.	
	③地域支援者の有無、なり手が見つからない、という課題について
1	
2	独居、高齢世帯では近隣との交流もない方が多くお願いするのが困難。自治会会長宅へ訪問説明、家族へ依頼するも家族も協力的ではない。
3	
4	
5	責任が重くのしかかっている。自分で手いっぱいなので、人助けは無理！怖い！不安！なってみないとわからない。
6	近所の方にこれ以上、迷惑をかけたくないと思っている方の対応について困難を感じる。一緒に探してほしいと言われた方が動きやすい。
7	近所付き合いの全くない方については難しく、今後相談したいと思います。
8	結局のところ、他人はある程度の所で去っていく。その為、血縁関係のある方に絞るしかないという現実。
9	
10	
11	
12	ほぼほぼ、支援者は見つからないに等しい
13	
14	地域付き合いがない、身寄りがない方については、困る課題ですが、町内での担当の方(防災担当?)を指名していました。しかし、避難する際には、そこまで手が回るかという不安もあるが、常に自分で守るよう伝えていきます(意識を高めてもらう)
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	日頃からのつきあいのある・なし程度でわかれた。ご本人・ご家族が声かけ依頼するのは難しいと感じた
23	
24	
25	解決できない。安易に自分になりますとは言えない
26	行政区ごとに協力体制を作ってもらえない。ご近所同士の協力をお願いするしかないと思う
27	行政区ごとに協力体制を作ってもらえない。民生委員もそのつど変わるので、記載してもあまり協力してくれるか分からない
28	
29	そもそも、地域の方たちの障害に関する理解が低い。なかなか、理解してもらいにくい現状の中、地域支援を近隣の住民から見つけるのはかなり大変だと思う
30	
31	地域支援者がいない場合は、家族のその旨伝え、一緒に考えてもらえた。近くの方が皆、年寄りだから、お互い助け合えない。逆に若い人ばかりだからお願いできないという声もあがった
32	ケアマネが探すというのは、現実的に難しい。自治会等で対応方法についての一覧が出ると助かる。自協(共助)ですまないから、介護保険を利用していると言われてしまう事が多い
33	独居で近所付き合いが多いが、ほとんどない人に対して、支援者をどのように探せば良いのだろうかわからなかった。(町内会単位で、1~2名の防災委員を市で委任するのはどうか?)
34	地域性やその人(民生委員)の考え方によって、変わってくると感じる。一人暮らしの障害者の方は、なかなか支援者が見つかり難い状況である。付き合いが薄く独立しがちである。支援者も自分で精一杯の中、支援しにしようとする人は、なかなか難しく、頼みづらい。
35	
36	
37	
38	本人の生きざまが、地域支援者の有無に影響していると感じた。近所との良好な付き合いが必要。高齢になって、急に近所の人に頼ることはできない。
39	まだ、行っていないので、わかりません
40	なかなか、見つからず、止まっている件数が多い。
41	地域支援者を知人や近所の方とした場合責任が取れないとのおことわりされるケースがある。

No.	
	<b>④医療ケアや重度の障がい者・要介護者のいる世帯の課題について</b>
1	
2	高度医療者場合は考えてしまう。精神疾患の場合など、どのような対応が良いか不明で心配です。特に常時必要な電源の確保について家族はどのような考えを持っているのか話を聞きたいです。
3	移動手段 避難先での生活
4	
5	
6	車いすが必要な方でも、サービス利用中はデイの車いすを使用している方は、自宅に車いすがない。
7	移動時には、複数名の支援者が必要と思われるが、自分の事で、皆さん精一杯になり協力が得られるのか疑問である。
8	
9	避難場所が限られている。移動手段、避難場所での不安。結局、自宅にいるしかないと話す方が数名いた。
10	
11	
12	いまのところ、重度の方は、担当なし
13	医療器具をどのように、取り扱うか、避難所に設置するまでの間、どのような対応するか、個々に具体的な方法の検討が必要と思われる
14	主に寝たきりでは移動手段がないので、避難するというよりは、自宅待機というような形で、備蓄をしておいていただくよう、声かけしています
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	自力での避難が難しい。計画の作成を通し、どうすればよいかの、考えるきっかけにはなると思う。医療機関の協力の不可欠と思う
23	
24	
25	できていない
26	避難所まで行く手段の確保ができない為、家にいた方が安全でもある
27	避難所まで行くための手段が確保できない。そのなのに、避難所までの地図って。意味がなくなる
28	
29	
30	
31	災害は早めに対策(ショート)がとれるが、地震の場合、動かせないから、その時は・・とあきらめる家族もあった。すぐではないが、行政が動いてくれるという言葉には、安心があったようです
32	手助けの必要な人への対応が難しい
33	特に高齢者のみの世帯の要支援者については、避難の支援が必要だと思う
34	
35	
36	
37	
38	具体的に誰が対応できるか、複数の人を考えていく。
39	まだ、行っていないので、わかりません
40	避難先での対応不安。福祉避難所の早期開設・確立。電気・衛生・食事(形態)等の不安があり、「とりあえず」計画を作るしか・・・。
41	

No.	
	⑤対象者の理解を高めるために貴事業所で独自に工夫した取り組みについて
1	
2	検討中のため話し合いが進まない
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	自分の身は、自分で守る。スタイルで始めから説明している
13	災害時、緊急に対応する手段を確保する
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	ただ手渡しするだけでは、なくしてしまうので、ファイルにファイリングして目立つ場所においてもらうようにした
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	いろんなパターンで話しをし、想像してもらいながら、話し合った。
32	行政側も行っている取り組みが不十分で伝わらない。(避難所の環境整備等を聞かれても、良くわからない)
33	
34	
35	
36	
37	
38	本人・家族とどのように本人を助けるかを話し合った。
39	まだ、行っていないので、わかりません
40	同グループ内で行う、防災訓練に参加、または、その時に周知する。
41	
41	

No.	問18
	<b>⑥対象者が、個別支援計画の作成を希望しなかった主な理由について</b>
1	名簿登録希望は「市が何かの支援をしてくれる」「優先的に対応してもらえる」と理解して同意された方が多く、改めて重要事項説明書で、主旨説明を行うと「それならいらぬ」と返答される事が多い。
2	個人的な事が他者に知られることが嫌だ。民生委員がおしゃべりだから作成しないとの声もありました。一部と思いますが家族・本人の理解されることが大切ではないかと思えます。
3	特に問題ない
4	
5	他人様に迷惑をかけたり、世話になるくらいなら死んだほうがマシ！他人様に負担をかけたくない。
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	独居ではあるが、近所に親戚が住んでいる為、すぐ助けることができるので、必要性はない
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	まだ、希望しない人がいない
26	計画を作るだけで、何も支援してくれないなら、計画もたてなくて良いですと断られる
27	計画を作るだけで、行政はすぐに支援してくれない。計画だけなら、別にいいですと言われてしまう
28	
29	
30	
31	サービス付き高齢者住宅へ入所した為。要3→要支援1となり、自ら動けるようになり、若い世帯と暮らすことになった為
32	どうせ何にもしてくれないのであれば、自分たちで考えるしかないし、情報は、自治会等へも出してほしくない
33	
34	
35	
36	
37	
38	入院中で病状悪化。有料老人ホームも退院の施設入所に考えている。家族より必要ないと言われた為
39	まだ、行っていないので、わかりません
40	
41	対象者の家族が仕事等で日中不在になった場合の避難に際して、親戚や近所の方の協力を求めることに申し訳なく、一人では決められないとのことで、希望されなかった。

No.	
	⑦作成した個別支援計画の見直しの時期・頻度・間隔等について
1	
2	見直しについては、訪問時何か変化があった場合見直し、必要と思いますが全員の同じ時間帯は無理と思います。
3	3年に1回ぐらい
4	
5	
6	
7	本人の状態、家族の状態が変わった時にその都度見直しが必要だと思います。
8	
9	
10	
11	
12	
13	個々の生活環境、身体状況の変化があった時、見直しが必要と思う
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	状況が変われば随時、通常6カ月に1回でしょう
23	
24	
25	本人や家族、地域支援者に変化があった時と年1回防災の日9/1を中心に見直しできたらと思う
26	本人の状態に変化のあった時、ハザードマップ改定時など作成した計画にそって、避難しようとしたが、安全でなかった場合、誰の責任??
27	見直しをしていなくても、情報が古かった場合、実際の火災の時に、責任どうなるのでしょうか??
28	
29	
30	
31	明らかに状況が変わったらで良いと思うが
32	本人の状況変化
33	1年に1度ぐらいは、見直した方が良いと思うが
34	
35	
36	
37	
38	
39	未実践なので、わかりません。
40	まだ、適正がわからない
41	

No.	
	⑧個別支援計画の作成の一連の作業又は委託業務の中で、今後、改善すると良いと思うことについて
1	
2	非常持ち出し品チェックリスト必要品と思いますが、高齢者が背負い避難は難しいと思います。最低品の持ち出し品に見直しが良いのではと思います。
3	請求事務 カット
4	
5	予防の委託(包括の)を減らすようにすると、なんとか作成できる。
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	個別支援計画が、時間をかけず実施できると良いと思われる
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	「重要事項」をわかりやすくしてほしい
23	
24	
25	
26	
27	作成した計画は、市の中でどのように使われて、活用されるんですか？それで、まず、知りたい。避難したら、その計画がそこに届いていたりするのでしょうか？計画の活用方法が分かれば、もっと良くなる。
28	
29	
30	
31	
32	届出書類の簡略して欲しい。どのような計画が良かった、ここをもう少しはっきりしてほしい等。作成者以外の意見も入れると良いと思う
33	継続して行うためには、もっと簡単にできるようにしないと難しい
34	
35	
36	
37	
38	
39	未実践なので、わかりません。
40	質を上げる為には件数制限。事前に支援者のなりてが見つかっている。
41	

No.	
	⑨貴事業所が、個別支援計画の作成業務を受託したことで、新たに発見したこと、また、変わったことについて
1	
2	災害について学ぶことができ、施設内でも再度勉強会などで、意識が高まり良いと思います。
3	避難場所の確認 困っていることを(本音)を聞くことができた。
4	
5	
6	災害、防災に対する意識が高まる
7	
8	いざという時、どのように避難するか。もしもの時には、どうするのか、お互いに考えるいい機会となった。
9	
10	
11	
12	災害に対する意識つけは、できたと思うが、実際に起こってしまった場合の避難には、大きな課題があるのでは
13	災害に対する意識が高まり、地域に対し、認識をもつ事ができた支援者がいた
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	避難場所の確認や地域支援者等の存在を確認することができたこと
23	
24	
25	業務が増えたことと、防災意識が高まったこと
26	利用者を取りまく、人間関係を聞く(知る)きっかけになった
27	利用者の周りの人間関係を知るきっかけになる
28	
29	支援者側の防災意識も高まった。作成に当たって、自分自身もある程度、防災に関する知識がないと対象者に情報提供したり、相談にのったりはできない。作成を通して支援者側の勉強にもなった
30	
31	命の危険がせまった時の本人たちの気持ち(思い)、希望について確認できたこと
32	地域の状況。以前の避難指示が出た地域等について確認できました
33	
34	
35	
36	
37	
38	会社のお客様(本人)、特に、1人暮らしの方への緊急時の対応を再度、話し合った。
39	1件の未実践はしていないが、モニタリング等で、訪問した時は、利用者様のおかれている環境について考えるようになった。
40	いままで、独居の方の安否確認のみでしたが、他の方の「大丈夫かな?」という心配が減ると思う。災害時に通所系、入所系とは、別な動きがある可能性が出てきた。
41	

No.	
	<b>⑩担当課が実施する、災害・防災に関する研修会の内容等について</b>
1	ハザードマップや避難所の周知だけでは、対象者が避難所へ行く事が安全確認につながるのか判断できない。ゲリラ豪雨等の時に冠水する場所や避難所のキャパティーや提供できる内容などの受け入れ体制等、より具体的、現実的な判断材料の提供が必要であると思います。自宅よりも避難所の方が低い立場である。以前避難所に行った事があるが、いっばいで断られたという人がたくさんいました。
2	大変分かりやすく良いと思います。
3	タイムリーである。
4	
5	危機感の違い(安全地帯と危険地帯)グループワーク継続してほしい。皆さんと一緒に勉強できる機会をもっと設けてほしい。
6	地域の方向けに研修を行ってほしい。
7	
8	防災を意識するきっかけにする。グループワークの時間は不要。
9	防災に対する意識が高まり、個別支援計画の必要性や課題について考える機会になりました。
10	
11	
12	
13	
14	わかりやすいと思います
15	
16	
17	
18	
19	
20	とてもわかりやすい
21	
22	実際の災害時のタイムラインにそった、事例等 避難所のことなど、詳細を知りたい
23	
24	
25	
26	作成した計画の活用方法について
27	作業した計画の活用方法について実際にどのように使われるか教えてください
28	
29	
30	
31	
32	事前にアンケートで問題把握をしてほしい
33	
34	
35	
36	
37	高齢者と障がい者(児)では、場所の問題移動手段に違いがあると思うので、分けて研修会の議題としてほしい
38	防災意識を高める必要があると思う。そのような内容がよい。
39	良いと思う。
40	まだ、随時、未事例のケースや気になる事を話せば良いと思う。
41	



No.	
	<b>⑪その他、個別支援計画作成業務の委託に関する全般について</b>
1	
2	災害時個別支援計画作成は必要と思いますが、時間が限られていますので、件数達成できないのではと、気持ちがすっきりしません。やらなければどの責任もありますので。
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	移動手段の確保。支援者のいない方へ、サービスを位置つけても、実際には活用できない気がします
13	書類の簡素化が必要と思われる
14	
15	
16	大変申しわけありませんが、ケアマネの通常業務で時間に追われる日々ですので、個別支援計画作成業務が行えていない状況です。その為、アンケートも回答できず申し訳ありません
17	
18	
19	
20	計画を作成して、どこまでの範囲をCMが行っていくのかが、まだ作成していないので不明です
21	
22	
23	
24	
25	重度の人の計画作成(明らかに人手が足りず移動手段に困る様な)には必ず市の職員も関わることにした方がいいと思う。避難することが困難な人ほど、優先されるべきだと思うから
26	実際に避難した場合、誰がどのように確認するのか？また、その後の活用について
27	作成した個別支援計画は、実際に避難した時に、避難所で、どのように活用されるのでしょうか？災害が発生した時には、もう避難所においてある??
28	
29	
30	
31	
32	地域包括ケアへのアクションの1つとして考えられる防災マネジメントとなると思います。研修等の際は、包括のファシリテーターを中心にやってほしいと思います
33	個人情報保護の観点から、考えると難しいと思うが、そもそも、災害時の要支援者の情報提供に同意が必要なのだろうか(生命を優先すると考えたときに)
34	我々がやらなければならない事を理解している事を、前提に、市の役割が明確になっておらず、われわれと、どのように連携をしていくのか？イメージ図のようなものがあると良い。また、どのように、この計画書が活かされていくのか？より実践に近い形でフィードバックしていただけることを期待したい
35	
36	
37	避難場所が水没地域にマップ上になっている地域在民の方にどのように避難を勧めるのかが分からない。特性のある子が避難所に入れるかなども問題だと思います。
38	時期をずらしてしまい、来年度も猛暑と予想され、熱中症等々、体調を崩す人が多いのではないかと、対応に手を抜くことはできない
39	個別支援計画の重要性は、理解できているが、事務員もいない。一人に対応している事務所では、なかなか時間がとれない。遅くなって申し訳ありません。アンケートの期日を守ろうと、一度目は、通しましたが、実践がない中で、書くことができない質問が多く、放置してしまいました。催促の通知を頂いてからの提出となってしまいました。申し訳ございません。
40	
41	